

図書館インフォメーション

今月の展示本

師走を迎えて、なんとなく気ぜわしい毎日です。そんな時はちょっと息抜きに心温まる本を読んでみませんか？仕事や勉強、家事の合間など、心身ともにリフレッシュしたい時、ただただほっこりしたい時など、心温まる本は優しく心に寄り添ってくれます。

南部図書館では、「クリスマスの本」「季節の絵本」「瀬戸内寂聴さん」他、富沢図書館では、「季節の料理・手芸の本」「人気の歴史小説」などをご紹介しますのでどうぞご利用ください。



「紹介本コーナー」
詳細は、次のページにて
ご紹介しております。



おすすめ・お気に入りの本、募集します！

図書館では、「これいいよ！」と誰かに教えてあげたい本を投稿するポストが設置されています。お1人様何枚でも、どなたでも匿名でご応募いただけます。応募用紙にタイトルとおすすめしたい方の対象（幼児～一般向け）などもご記入ください。皆様からお寄せいただいた本は、後日、館内展示などでご紹介させていただきます。



図書館の予定

・年末年始休館のお知らせ

南部図書館・富沢図書館では、12月27日（月）～1月4日（火）まで休館とさせていただきます。本の返却は、各館の玄関にあるブックポストをご利用ください。
※CD・DVDは破損の恐れがあるため、ブックポストに入れずに開館時にカウンターまでお持ちください。

・乳幼児おはなし会 のんたんのへや
1月12日（水）・19（水）・26（水）
午前10時30分～11時30分

・わくわくお話し会（たけのこ会）
1月10日（月）
午後1時30分～2時30分

1月

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



美術館の予定

南部ふるさとカルタ原画展

2021年12月18日（土）～2022年1月30日（日）
◆午前9時30分～午後5時まで
◆休館日は月曜（1月10日は開館）、
12月29日（水）～1月4日（火）、1月11日（火）
◆観覧料：無料

南部窯早蕨の前田幸子先生が描いた南部ふるさとカルタの原画展を開催いたします。期間中には、カルタにある南部の歴史を学ぶ講座も開催いたします。皆様のご来場をお待ちしています。



（イベント・講座のお問合せ 62-9292） 南部図書館 事務室までお願いします。

今月の新刊情報

「剛心」

木内昇著
天涯孤独の身で17歳にして単身渡米。帰国後、西欧の新しい技術に学んだ“江戸の再興”を心に誓い国会議事堂の建設へと心血を注ぐ。近代日本の礎を築いた妻木頼黄の生涯を描く。



「遠慮深いうたた寝」

小川洋子著
日々の出来事、思い出、創作、手芸、ミュージカル。温かな眼で日常を掬い取り、物語の向こう側を描く9年ぶりのエッセイ集。新聞、雑誌などに掲載した作品をまとめる。

「少女たちの戦争」

中央公論新社編
若い兵士に言えなかった「サヨナラ」の一言、東京大空襲の翌日に食べた最後の昼餐。瀬戸内寂聴から佐野洋子まで、太平洋戦争開戦時に20歳未満だった女性たち27名が、非常時の日常を綴る。



「中野のお父さんの快刀乱麻」

北村薫著
菊池寛の将棋小説への疑問、志ん生のCDに隠された秘密、小津映画の原作をめぐる謎。国語教師の父と編集者の娘が、本と日常の謎に挑む。『オール読物』掲載を単行本化。

「残照の頂」

湊かなえ著
日々の思いを噛み締めながら一步一步山を登る女性たち。通過したつらい日々はつらかったと認めればいい。山頂から見える景色は、これから行くべき道を教えてくれる。全4編を収録した書き下ろし連作小説。



「嫌われた監督」

鈴木忠平著
中日監督時代の8年間、落合博満は勝ち続けながらもなぜ嫌われたのか。異端の将の影響で人生を激変させた12人の男たちの目を通して綴られる。

2021年11月9日、99歳で亡くなられた尼僧で作家の瀬戸内寂聴さん。

様々な困難に直面した時や日々を振り返る時など、心の支えを求め熟読される方は大変多く、図書館においても人気作家のひとりです。執筆活動と並行して信仰に生き、京都・嵯峨野で寂庵を中心に法話を開催。孤独や病、家族不和などに悩む人への思いに耳を傾け、励ました言葉の数々は多くの方へ生きる活力として支え続けます。

図書館ではそんな寂聴さんの本をコーナーで紹介しています。ぜひご覧ください。



「寂聴残された日々」

瀬戸内寂聴著
朝日新聞社

災厄の記憶、文人たちの思い出から、若い世代へのエール、コロナ禍での新たな生活まで、まもなく100歳を迎える著者が、いよいよ託す人生の記録。『朝日新聞』連載を書籍化しました。

「美しいお経」寂聴精撰

瀬戸内寂聴著
中央公論新社

疲れた時、淋しい時、泣きたい時そして幸せな時。人生の折々に心に染みわたる美しい言葉の数々。有名なお経をはじめ、高僧たちが残した言葉、祖先が伝えてきた詩歌などを選びすぐり、読み解きます。



寂聴
残された
日々
瀬戸内寂聴



「愛に始まり、愛に終わる」瀬戸内寂聴108の言葉
宝島社

想像力こそが思いやりであり、思いやりは愛である。愛と苦しみは陸続きなのだ。「愛」「生」「業」「老」などをテーマに瀬戸内寂聴の珠玉の言葉を厳選しまとめた名言集。人生の歩みを振り返る貴重な写真も収録しました。

「笑って生きる」

瀬戸内寂聴著
中央公論新社

泣きたいときは辛抱しない。現世なんてサンドイッチのハムより薄い。健康・夫婦子育て・老人づきあい。迷ったら立ち戻りたい瀬戸内寂聴の熱く優しい希望のことばを、『婦人公論』掲載記事から厳選して紹介しました。

笑って生きる

瀬戸内寂聴

